

ドロップ・サイト・デイリー、2月11日：ネタニヤフ首相がホワイトハウスでトランプ大統領と会談；エルパソ上空の空域が速やかに再開；米国がナイジェリアに200名の兵士を派遣

脇浜義明訳 *脚注は訳注

ガザ・ジェノサイド、西岸地区、イスラエル

*イスラエル軍、ハーン・ユニス東部を爆撃：アル・ジャジーラによると、イスラエル軍は今日もガザ回廊への攻撃を続け、ハーン・ユニス東部へ空爆と砲撃を行った。ガザ回廊南部では、パレスチナ人の子どもがイスラエル軍の銃撃で負傷した。

*死傷者数：過去24時間で、イスラエルのガザ攻撃で、少なくとも5人のパレスチナ人が死亡し、20人が負傷した。瓦礫の下からは3人の遺体が回収された。2023年10月7日からの累計犠牲者数は、死者7万2045人、負傷者17万1686人となった。ガザのパレスチナ保健省によると、いわゆる停戦初日の10月11日以降、イスラエルはガザ回廊で少なくとも591人のパレスチナ人を殺害し、1578人を負傷させた。また、瓦礫の下から回収された遺体は730体となった。

*イスラエルはガザへの帰還者への嫌がらせ：外国で治療を受けた少なくとも41人のパレスチナ人が、2月10日、ラファ・クロッシングを通ってガザに戻った。アル・ジャジーラによると、帰還者はガザ回廊到着時に、前と同じように屈辱的な身体検査や尋問を受けた。

*ラファ・クロッシングの開通は極めて制限的：ラファ・クロッシングが部分的に再開されてから9日間経つが、外国で治療を受けるためにガザ回廊から出国できた患者はわずか102人であった。イスラエルの発表では毎日50人の患者がそれぞれ2人の付き添いと一緒に出国し、さらに毎日50人が入国しているとし、9日間で合計1,800人が通過したという。しかし、ガザの政府メディアオフィスは2月2日から10日までのラファ・クロッシング通過数は488人で、これは予測された通過人数の27%にすぎないと発表した。このうち患者は102人であった。一方、ガザ回廊では約2万人が緊急に外国で医療を受けなければならないとWHOが認定している。

*西岸地区の村で強制移住：Wafa通信によると、西岸地区エリコの西にあるデイル・アッディク村では、入植者の暴力のために、少なくとも15世帯のパレスチナ人が自宅が追い出された。また、アル・ジャジーラによれば、アル・ハリール/ヘブロン全域でイスラエル軍の攻撃が続いている、軍が発射した催涙ガスで何人かのパレスチナ人が呼吸困難になっている。

*イスラエル裁判所、パレスチナ人少年がん患者の治療目的のイスラエル入国を阻止：人権団体ギシャによると、進行性のがんを患う5歳のパレスチナ少年が、救命の骨髄移植を受けるためにイスラエルへ入国することを、イスラエル裁判所は、ガザ回廊住民の入国を全面禁止するという国家方針を挙げて、阻止した。少年は2022年から西岸地区に住んでいる。ガザ保健省は、戦争開始以降、がんによる死亡は3倍増で、ガザの医療システムが崩壊しているので、ガザの外で治療を受ける医療搬送を待っているがん患者が1,300人死んだと推定している。

*イスラエルの極右、パレスチナ囚人の死刑を義務付ける法案提出：極右政党「ユダヤ人の力」（オツマ・イエフティット）が起草した法案は、「テロ」攻撃で有罪となった西岸地区のパレスチナ人は必ず死刑判決を下すことを裁判官に義務付け、一方同じ罪で有罪判決を受けたイスラエル国民には終身刑にするという内容である。

米国ニュース

*ホワイトハウスのネタニヤフ：11日朝、ネタニヤフ首相はトランプ大統領と会談した。主に米国・イラン協議についての会談だった。ネタニヤフは、2月19日に予定されているトランプの「平和評議会」に出席するために訪米する予定だったが、米国とイランの協議が気になって、訪問を前倒した。

*エルパソ周辺空域を閉鎖し、その後再開した：連邦航空局（FAA）は「特別な治安上の理由」として、エルパソ国際空港発着便すべてを一時停止した。ショーン・ダッフィ運輸長官はSNSで「FAAと戦争省はカルテルのドローン侵入に対処して迅速に行動した。脅威は無力化されており、この地域への商業旅行への危険はない」と述べた。

* 司法省、エプスタインの共謀容疑者を暴露：司法省は、2019年のFBI文書の未編集部分を公表した。その文書は、億万長者のレス・ウェクスナー、エプスタイン側近のレスリー・グロフ、モデル斡旋業のジャン・リュック・ブルネリ、有罪判決を受けた人身売買業者ギレース・マクスウェルをエプスタインの共謀者として名指ししている。これは、トマス・マシード院議員とロー・カーナード院議員が、司法省が共謀者氏名を隠蔽していると、エプスタイン・ファイル透明性法に基づいて、同省を非難したための公表である。トッド・ブランシュ副司法長官は、ウェクスナーの名前はすでにファイルに数千回登場しており、隠蔽はしていないと言った。一方、ウェクスナーの弁護士は、以前検察官がウェクスナーは共謀者でないので標的にしていないと述べたことを述べた。追加発表された4人の氏名は未編集のままなので、被害者の身元のみを非公開とするという法律の要件に違反していると主張する議員たちがいる。エド・マーキー上院議員は、司法省による不公平な未編集についてドロップ・サイトに語った¹。

* 起訴陪審、トランプの民主党議員起訴を却下：ワシントンの連邦検察は民主党議員6人を起訴することができなかつた。この6人が軍人に違法な命令を拒否できることを訴えるビデオに出演したので、6人を刑事訴追しようとしたが、起訴陪審がそれを却下したのである。6人は、マーク・ケリー上院議員、エリッサ・スロットキン上院議員、ジェイソン・クロウ下院議員、マギー・グッドランダー下院議員、クリッシー・ホウラハン下院議員、クリス・デルジオ下院議員で、検察は軍の士気への干渉を禁じる法律に基づいて彼らを起訴しようとした。11月にはトランプ大統領は6人の議員を「扇動行為」をしたので「即時」絞首刑に処すると威嚇した。ケリー上院議員は、自分の発言に関して今も国防総省の捜査を受けている。

* ナンシー・ガスリーの防犯カメラ公開：2月10日、警察は、行方不明になってほぼ2週間になる84歳のナンシー・ガスリーの防犯カメラ（グーグル・ネスト・カメラ）の映像を公開した。彼女はテレビ番組「トゥデイ」の司会者サバンナ・ガスリーの母親である。ナンシー・ガスリーはグーグル・ネスト・カメラとの契約はなく、かつて契約していた時のカメラは「切断」されていたにも拘わらず、映像が回収されたことで、監視とプライバシーに関する疑惑が高まっている。映像に映っていた男性が拘束され、尋問され、家宅捜査までされたが、11日に釈放された。

* トランプ 中東への2度目の空母派遣を検討：トランプ大統領はアクシオスに対して、イランとの協議が決裂した場合、2度目の米航空母艦攻撃隊の派遣を検討していると語った。トランプはイランが今回の協議を真剣に受け止め、合意は核開発計画だけでなく、弾道ミサイル備蓄も含まれると示唆しているが、イランは弾道ミサイルの件は拒否している。

* ニュージャージー州下院選挙に関する民主党予備選挙で進歩派候補が勝利：10日、ニュージャージー州第11選挙区の民主党予備選挙で、バーニー・サンダース上院議員とアレクサンドリア・オカシオ・コルテス下院議員が支援するアナリリア・メヒアが勝利した。対抗候補の元下院議員のトム・マリノウスキーは、メヒアのリードが数百票となったので、敗北を認めた。メヒアは、2026年4月の総選挙で共和党のジョー・ハサウェイと闘うことになるが、今の予想では圧倒的優位である。マリノウスキーはまた、6月の予備選挙（2年間の任期満了者を決定する選挙。4月選挙は1月までの議席補充の選挙）でAIPACがメヒアに対抗する候補者を支持した場合、その候補者に反対票を投じるように自分の支持者を説得すると示唆した。

* InstagramがAIPACトラッカーを停止：インスタグラムは、AIPACの政治資金の流れを記録する人気の高い監視プロジェクト「Track AIPAC」を、インスタグラムの知的財産規則に違反するとして停止した。このアカウントは、選挙候補者への献金を調べ、米国政治におけるAIPACのロビー活動の最大の受益者に焦点を当てて追跡している。

* テキサス州のICE家族収容所の中の子どもたちが、恐怖、病気、何ヵ月も学校に行けないことを訴える：テキサス州のデイリーUCE施設の収容されている子どもたちは、学校に行けないまま、施設の中で、うつ病、いい加減な医療、長期にわたる監禁で苦しんでいると、独立系調査ジャーナル『プロパブリカ』が報じた。この施設には750以上の世帯が収容されており、その半数近くが子連れ家族である。外部の人間の立ち入りは厳しく制限されている。

* 裁判の中で、アイダホ州の競馬場で武装移民検査官は子どもたちを結束バンドで拘束したと証言：CBSニュース報道によると、アメリカ自由人権協会（ACLU）が提訴した連邦人権訴訟で、昨年10月に連邦検査官と地元警察がアイダホ州

¹ : 訳者はこの主張の理解に苦しんでいる。4人は加害側で被害者ではない。

のワイルダーの地方競馬場で捜査を行ったとき、14歳の米国民を含む子どもたちを銃で脅し、ジップタイで拘束し、彼らにトラウマを負わせたという証言があった。

*下院で進歩派議員、モンロー主義を終わらせる法案を提出：ニディア・ベラスケス議員とデリア・ラミレス議員が主導する下院進歩派議員は、新善隣法案 (New Neighbor Act)を提出した。これは、200年の歴史を持つモンロー主義を正式に終わらせ、代わってラテンアメリカ・カリブ海諸国の主権を尊重し、パートナーシップと相互尊重に基づく外交政策に置き換えることを議会決議することを求める法案である。トランプ政府による最近のベネズエラへの軍事行動やキューバへの石油禁輸措置など、主権国家を無視した介入主義を厳しく非難する法案である。

*ヴァンス副大統領事務所、アルメニア虐殺に言及したSNS投稿を削除：J.D.ヴァンス副大統領事務所は10日、ヴァンスのエレバンのツイツエルナカベルド記念館訪問を「1915年アルメニア人虐殺」の犠牲者を追悼するものと書いたSNS投稿文を削除した。側近は、この投稿はスタッフのミスだと記者団に述べ、ヴァンスが「非常に恐ろしい出来事」と呼んだのは、地域のパートナー国アルメニアへの表敬を強調した発言であると言った。「アルメニア人ジェノサイド」指定に反対しているトルコのエルドアン大統領は、長年米国のジェノサイド認定に反対してきた。米国がジェノサイド認定したのは、2021年バイデン政権のときであった。

*米国、イスラム主義過激派に対抗するナイジェリア軍の訓練に200人部隊を派遣：米国とナイジェリア政府は2月20日、ボコ・ハラムとイスラム国西アフリカ州 (ISIS-WA)への対処で、米国が、対テロ作戦で現地軍を訓練するために、ナイジェリアへ200人部隊を派遣すると発表した。この派遣はこれまでの米軍の小規模プレゼンスを拡大するが、ナイジェリア当局は、米軍が戦闘に参加することはないと言っている。ナイジェリア政府は米軍に支援を要請したと言っている、同国で「キリスト教徒迫害」に政府が何もしないとトランプが非難して以降協力が強くなっている。

*米国、太平洋諸島政府高官を、汚職と中国との癒着疑惑で制裁：2月10日、トランプ政府は、パラオの上院議長ホッコンス・バウレスと元マーシャル諸島市長のアンダーソン・ジバスと彼らの家族に、米国への入国禁止の制裁を課した。米政府は、彼らの汚職で太平洋地域に中国の影響が拡大すると危惧している。

*自分の妻を噛むというDVを行ったICE職員：移民関税捜査局 (ICE) の職員マヨワ・バオノジョは、妻を噛んだDV事件で有罪とされ、上司には虚偽の報告をしたにも拘わらず、移民インサイダーが入手した文書によると、国土安全保障省内で法執行以外の職務に就いたままであることが明らかになった。審査委員会はバオノジョを「職員として相応しくない」「誠実さを欠如している」と認定したが、彼は解雇でなく単なる移動処分されただけであった。この事件は、現在、連邦巡回控訴裁判所で審議中である。移民インサイダーによるスクープ記事全文は[こちら](#)から閲覧可能。

*イリノイ州下院議員選挙でAIPACはシカゴ市財務長官を数百万ドルを使って広告支援：AIPACは、イリノイ州第7選挙区における支援候補を、以前は実業家のジェイソン・フリードマン支援に金を出していたが、シカゴ市財務長官メリッサ・ユニアーズ・アービンに切り替え、スーパーPAC「ユナイテッド・デモクラシー・プロジェクト」から約80万ドルの広告費を投入した。この動きは、最近のニュージャージー州の民主党予備選挙で「ユナイテッド・デモクラシー・プロジェクト」の支援候補が負けたことを受けての切り替えである。ダニー・デイビスが引退する後の下院議席をめぐる選挙で、AIPACがトム・マリノウスキー前下院議員を攻撃する広告を行ったために、マリノウスキー以上に反イスラム的な挑戦者であるアナリリア・メジアの道が開けた。また、この動きは、引退するダニー・デイヴィス議員が現在保持している議席をめぐって、多くの候補者がひしめくシカゴの選挙戦の中で行われた。デイヴィッド・デインは、AIPACの戦略とイリノイ州における最近の動きについて、The American Prospect誌の最新号で概要を述べている。[こちら](#)でご覧いただける。

国際ニュース

*イスラエル軍、国境を越えて南レバノン攻撃：アル・マナール紙特派員によると、2月10日、イスラエル軍は南レバノンの国境付近の町や村に、砲撃、ドローン攻撃、機関銃攻撃を行った。クアッドコプター・ドローンがフーラとアイト・アッシャアブにスタン榴弾を投下し、民間人1人が軽傷を負った。ヤルーンやナクーラ近郊沿岸などの地域には砲撃と戦車による攻撃が行われた。メルカヴァ戦車がヘルモン近郊のブルーラインを超えて、ヤルーンに向けて砲撃し、ドローンがブリダの住宅に爆弾を投下した。

***国連人権高等弁務官、エチオピアのティグレ州での戦闘再開で人道危機を警告**：ヴォルカー・ターク国連人権高等弁務官は、1月下旬にティグレ州北西部で発生した衝突は、2020年から2022年にかけてエチオピアを揺るがした紛争に再び巻き込む恐れがあると警告し、関係者すべてに緊張緩和と政治交渉をするように要請した。タークは、ドローン攻撃、砲撃、逮捕、関係を疑われた民間人への襲撃が行われていると言った。ティグレ州反政府勢力はアファール州国境付近で戦闘を展開していると報じられている。2020年～2022年紛争の避難民がまだ100万人以上いる。

***イラン安全保障担当高官、オマーン訪問**：オマーンで米・イラン協議が続いているが、それに並行して、2月10日、イラン最高安全保障会議のアリ・ラリジャーニ書記長はオマーンを訪問し、オマーンのバドル・ビン・ハマド・アル・ブサイディ外相とハイサム・ビン・ターリク国王と会談した。ラリジャーニは、ネタニヤフ首相がホワイトハウス訪問するが、イスラエルに核計画交渉の枠組みを左右させないようにと、米当局に警告した。オマーンの外交トップは、地域の平和を守るために、妥協と自制をイランに求めた。ラリジャーニはオマーン国営テレビに対し、イラン・米国交渉は「徐々に進展」しており、交渉内容が現実的で核計画だけに焦点を当てたものであれば、イランはさらに応じる用意があると述べた。ラリジャーニはまた、イエメンのアンサールッラーのモハンメド・アブドゥルサラムとも会談し、11日にカタールで地域協議を継続する予定である。

***傭兵会社ブラック・ウォーターの創業者エリック・プリンスは私的部隊をコンゴに派遣、M23反乱軍から国境沿い都市を奪還**：ロイター通信によると、傭兵会社ブラック・ウォーターの創業者で、長年トランプの盟友デアル・エリック・プリンスは、去年12月に請負武装集団と偵察ドローンをコンゴ民主共和国に派遣し、同国軍が、ルワンダ支援を受けるM23反乱軍から戦略的な国境の町ウビラを奪還する作戦を支援した。支援部隊は、イスラエルの顧問といっしょに、現地でコンゴの精銳部隊の訓練を行った。ロイター通信は、コンゴでの最前線の戦闘はプリンスにとって初めてのことと報じている。プリンスはコンゴ政府の鉱業税収入の確保にも尽力しているとも報じている。

***ベネズエラ産原油、米国管理の輸出システム下でイスラエルへ**：ブルームバーグ報道によれば、ベネズエラ産原油がイスラエル最大の製油所バザン・グループへ輸送中で、ベネズエラ産原油がイスラエルへ輸送されるのは数年ぶりである。この輸送は、米国のベネズエラ石油取引統制管理によって可能になった。米国が輸出先を決定する仕組みである。デルシー・ロドリゲス暫定大統領を含む指導部は、イスラエルを公然と非難、パレスチナ人を「ジェノサイド犠牲者、イスラエルの行為を「絶滅政策」と表現、また米国のベネズエラ攻撃には「シオニストの底意」があると批判している。

***ハンガリーの野党党首、与党が自分への脅迫としてセックス・テープを公開すると非難**：ハンガリーの野党指導者のペーテル・マジャールは、10日、自分と自分の元パートナーのセックス・テープが公開されそうだと述べ、これは苦境に立ったビクトル・オルバン首相の政府によるロシア式の脅迫工作であると言った。マジャールは元パートナーとの関係を認めたが、与党フィデス党が権力維持のために個人攻撃を行っていると非難し、脅迫に屈しないと付言した。

***ウクライナ、選挙実施と和平合意に関する国民投票を準備**：フィナンシャル・タイムズ紙によると、米国の圧力を受け、ゼレンスキーハー大統領は春に選挙とロシアとの和平合意に関する国民投票を行う準備を進めている。その正式発表は、戦争開始から4年となる2月24日までになると予想されている。米国は交渉による戦争終結を6月までを行うことを求めていると伝えられているが、ロシアはドンバス州からのウクライナの撤退を求め続けているが、ウクライナはそれを拒否している。

***クルディスタン労働党（PKK）戦闘員、米国仲介のクルド人勢力再編を目指した停戦合意の一環として、シリアから撤退**：クルド人主導のシリア民主軍（SDF）とアハメド・アッシャラー暫定大統領率いるシリア政府軍との統合合意の一環として、PKK所属の非シリア人戦闘員の少なくとも100人が、シリアからイラクのクルディスタン地域へわたり、カンデイル山地に引っ越ししたと、情報筋がアル・モニターに語った。これは、クルディスタン地域のネチルヴァン・バルザニ議長とSDFのマズルム・コバネ司令官の協議を受けて行われた移動で、SDFがシリア国軍の中で4個旅団を維持することに対してトルコの反対を和らげる一因となった。

***ベネズエラ野党指導者ファン・パブロ・グアニバ、短期間釈放後、自宅軟禁**：マリア・コリーナ・マチャドの側近で、野党の有力な指導者ファン・パブロ・グアニバは、釈放後再び逮捕され、マラカイボの自宅で軟禁状態であると、息子のラモン・グアニバが、10日、ロイター通信に語った。テロに関係する罪で服役していたグアニバは、服役8か月目

に、米国がベネズエラ新政権にかけた囚人釈放の圧力で8日に釈放されたが、10日に、釈放条件に違反した疑いでまた逮捕されたと報じられている。

***コロンビア大統領、政治的暴力激化の中、ヘリコプターへの攻撃を受けたが、間一髪で回避：**2月10日、グスタボ・ペトロ大統領は、娘たちとヘリコプターでカリブ海沿岸を移動中、治安当局から武装団がヘリコプターへの銃撃を用意しているという報告を受け、方向転換したと語った。コロンビア国営ラジオ放送の報道では、ペトロ大統領は沿岸経路の飛行を、海軍の支援を受けて海上経路に変更した。彼は、今回の事件は、自分が大統領就任以来続いている麻薬カルテルの陰謀とされる一連の動きの一つだと述べた。総選挙を前にして暴力が激化している中で発生した事件で、これとは別にカウカ地方でアイダ・キルクエ上院議員が短期間拉致された事件も起きている。カウカ地方は紛争地帯で、元コロンビア革命軍の派閥と繋がりがある武装勢力が依然として活動している。キルクエ議員と彼の警備員はその後無傷で解放された。

***カナダの学校で銃乱射事件：**カナダの農村地帯タンブーラリッジで発生した銃乱射事件で、9人が死亡した。タンブーラリッジ中学校内で6人の死亡が発見され、1人は病院へ搬送される間に死亡し、近くの住宅で2人の死者が発見された。警察によると、犯人とみられる人物も校内で自殺した。カナダ史上3番目に死者数が多い学校乱射事件である。

***オーストラリア、2024年イスラエル軍部隊がワールド・キチン・フードのコンボイに空爆したことへの刑事訴追を要求：**オーストラリアは、2024年にイスラエル軍がガザ回廊でワールド・キチン・フードの救援物資輸送車に空爆を行い、オーストラリア人支援活動家を含む7人を殺害した件で、刑事訴追を求めていると、アンソニー・アルバネーゼ首相が11日に発表した。首相は、同日朝のオーストラリア訪問中のイスラエルのイサク・ヘルツォグ大統領との会談で、この要請を伝えたという。ヘルツォグ訪問に反対・抗議する数千人規模のデモがシドニーであった。シドニー警察は、デモ参加者を殴打や催涙スプレーを浴びせるなど過剰な暴力を行使したと非難された。逮捕者少なくとも27人。

その他のドロップ・サイト情報

***エプスタインは、ヒトDNAを「ハッキング」しようとして、ゲノミクス、暗号化システム、ロシアの技術ネットワークを利用した：**投資家でもあったジェフリー・エプスタインはマサチューセッツ工科大学などの一流研究拠点に資金をつぎ込むと同時に、ロシアの億万長者ビクトル・ベクセリベルグが運営し、国家が支援するスコルコボ研究所とも提携して、CRISPR遺伝子編集、暗号技術、AI活用バイオテクノロジーなどのプロジェクトを支援した。米国司法省が公開した電子メールには、エプスタインが諜報機関とつながりがあるハッカーや科学者を進んでリクルートし、シグナル・インテリジェンス（無線諜報）技術を生物学に応用し、細胞間通信の解読や、さらに自分のゲノムを改変して寿命を延ばそうとしていたことが示されている。エプスタインは遺伝学を「暗号解読」問題と捉え、「生物の細胞間の通信を傍受して解読したい」とメールに書き、監視型暗号技術とヒト生物学を融合させることに執着していたことがメールから読み取れる。ライアン・グリム、ムルタザ・フセイン、エミリー・ジャシンスキによる完全なレポートは[こちら](#)でご覧いただける。

***パレスチナ人男性、瓦礫を掘り起こして、空爆で犠牲になった家族の遺骨を発見：**ガザ市のアブ・イスマイル・ハマドがサブラ地区の破壊された自宅跡を何か月もかけて手作業で掘り、イスラエルのガザ攻撃開始の2か月後の2023年12月6日の空爆で行方不明となった家族の遺体を掘り当てた。彼は小麦粉ふるいを使って砂から骨片をふるい分け、妊娠中の妻とお腹の中の胎児の遺骨を回収した。「ふるいを使って妻と子どもたちの遺骨を一つづつ集めています」と彼は語った。彼のやり方は、まだ数万人のパレスチナ人が瓦礫の下に埋もれたままで、機材もなく、法医学的能力もない中で、遺族は原始的な方法で遺骨の身元を確認するしかない現状を反映している。アブデル・カデル・サバによるガザからの最新レポートは[こちら](#)でご覧いただける。

***エリザベス・ウォーレン上院議員、レクア・コルディア事件について話し合う：**ウォーレン議員はドロップ・サイトのジュリアン・アンドレオーネ記者と、昨年コロンビア大学での親パレスチナ活動に参加して逮捕されてICE施設に拘留されたパレスチナ人レカ・カルディアについて話し合った。彼女は裁判所から保釈資格があると2度にわたり判断したにもかかわらず、ICEによって拘置されている。最近発作を起こし、病院で治療を受けた（その間家族との面会は拒否された）後、再び施設へ戻された。もし、強制送還となった場合、彼女は彼女の親族100人を殺害したイスラエルへ送られることになる。アンドレオーネとマリンの対談は[こちら](#)でご覧いただける。

* ドロップ・サイトは共和党議員にベネズエラ石油関連でインタビュー：ジュリアン・アンドレオーネ記者はマークウェイン・マリン上院議員（共和党、オクラホマ州選出）に対し、トランプ政府がベネズエラを攻撃し、マドゥロ大統領を拉致し、ベネズエラの17兆ドルを超える原油埋蔵を米国の石油・ガス会社に引き渡すという違法な作戦を行う数日前に、彼がコノコ・フィリップス、シェブロン、レイセオンの株式を最大5万ドルも売買した理由を質問した。議員は、「公開記録」で情報を得た取引だと答え、自分の開示情報と倫理報告書を読んで欲しいと記者に注文をつけた。議員はコノコとシェブロンの取引では15～20%の利益、レイセオン株のとりひきでは3.71%の利益をあげた。彼は議員在任中に、合計492回の取引で2,368万ドル相当の株式を売買した。アンドレオーネとマリンの対談は[こちらでご覧いただけ](#)る。